

山口警協発第51号  
平成29年3月3日

(一社) 全国警備業協会  
専務理事 福島克臣様

(一社) 山口県警備業協会  
会長 玉田 晃

### 交通誘導警備業務事故防止訓練の実施について (申報)

謹啓

時下、益々ご清栄のこことお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、中国管区内において、交通誘導警備業務に従事中の警備員が車両に跳ねられる事案が発生し、全国的にも多発していることから、山口県警察本部指導の下、交通誘導警備業務に従事する交通誘導警備員対象に事故防止訓練を実施したので、次のとおり報告いたします。

謹白

### 記

#### 1 開催日時

平成29年2月28日 (火) 14:00~15:00

※ 受傷事故防止検討会は、15:30~16:30

#### 2 開催場所

岩国市日の出町4丁目

日本製紙日の出グラウンド

#### 3 開催目的

交通誘導警備業務に従事する警備員の交通事故防止を図るため開催したもの。

#### 4 訓練開催の経緯

今回の開催は、昨年11月、広島県の中国自動車道において、交通誘導警備業務従事中の男性警備員が普通乗用車に跳ねられる重傷交通事故が発生したことを受け、山口県警察本部から「再発防止に関し何かできないか」との提案があり、この訓練が実現したもの。

#### 5 訓練内容

##### (1) 出席者

- 山口県警察本部
  - ・ 生活安全部長
  - ・ 生活安全企画課課長補佐
  - ・ 生活安全企画課係長
- 岩国警察署
  - ・ 署 長
  - ・ 生活安全課長
- (一社) 山口県警備業協会
  - ・ 会 長 玉田 晃 (本職)
  - ・ 副会長 岡野時夫 (セコム(株)山口統轄支社顧問)
  - ・ 専務理事 白井節男
- 会 員
  - ・ 株式会社中国警備保障 代表取締役 社長 豊島貴子
  - ・ サンケイ株式会社山口営業所 所長 梅野良幸
- 特別講習講師6名 (山口県警備業協会所属)
- 参加警備員
  - 岩国市内の交通誘導警備会社1社、10名 (うち女性隊員2名)

## (2) 次第

- 開式
- 会長挨拶
- 岩国警察署長挨拶
- 来賓紹介
- 事故防止訓練
- 生活安全部長総括講評
- 閉会

## 6 開催内容

訓練は、重大事故の発生する危険性の高いケース

- 高速道路における事故発生時の二次災害防止要領と負傷者の搬送
- 高速道路における規制設置・車両誘導要領

の2事例を想定し、当協会の特別講習講師6名が、訓練想定の要点を説明した後、参加した隊員が装備資機材の設置、事故発生時の二次災害防止要領、負傷者の救護・搬送について実施手順を確認した。

## 7 会長、来賓等の挨拶

### (1) 玉田会長 (本職)

交通誘導警備業務にかかわる事故防止訓練の開催は、県下では初めての試みであり、今後県下でも開催したいと考えている。日頃の業務で警備力を遺憾なく発揮し、レベル

アップにつなげ、悲惨な交通事故が発生させないようにしたい。

(2) 生活安全部長（総括講評）

警察本部から急な試みをお願いしたが、事故防止は準備の大切さとともに、現場での緊張感が一番大事である。

(3) 岩国警察署長

昨年11月に広島県内の高速道路で発生した重傷事件事例などを挙げて、警備員の業務は危険と隣り合わせ、貴重な訓練が実り多いものとなるよう祈念する。

(4) 生活安全企画課課長補佐（講評）

課長補佐は、それぞれの訓練ごとに、

- 高速道路は一般道路と違い100キロの世界であることの認識
- 自分の身は自分で守ることを第一に行動してほしい
- 不測の事態への警戒と相互の連携、体調管理

旨を講評した。

8 その他

(1) 検討会の開催

訓練が終了後、訓練の反省検討及び受傷事故防止対策について検討会を開催した。

(2) 今後の課題

今回の訓練は山口県警察のご理解があり、実現したもので、今後より一層の連携を図ることが重要である。今回の訓練は初めての試みであり参加の会員が少なかったが、引き続き県内の会員の理解を得て、機会あるごとに実戦的訓練を実施して、隊員の危機意識の醸成と警備員の受傷事故防止に努めることとしている。

(3) 訓練の状況は別添写真のとおり。

(4) 報道取材

本訓練は、地元放送局のKRY山口放送、アイ・キャン、読売新聞、日刊いわくに等の取材があり、夕方に放映されるとともに、翌日の新聞に掲載された。

記事等については、別添のとおり添付します。

(5) 警備員の反響

訓練に参加した隊員からは、「本日の訓練は大変充実した訓練だった。我々交通誘導警備業務に従事している警備員はいつも危険と隣り合わせで勤務している。刻々と変化する交通に的確に対応するため、自分の身は自分で守るという意識付けが重要である。

また、今日は生活安全部長、岩国警察署長等に訓練を見ていただき、身が引き締まる思いとともに、大変光栄に感じている」と語っていた。

別添

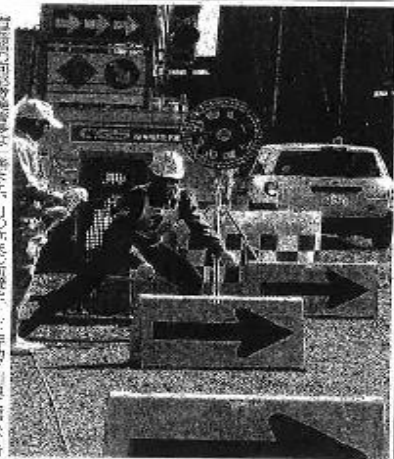


# 2次災害を防げ

県警と合同で  
緊迫の交通誘導訓練



山口県警と消防団は、11月10日、同県下関市で、2次災害を防ぐための交通誘導訓練を行った。同市で発生した地震による被害状況を想定し、消防団員が現場で発生した被害状況を把握し、県警と連携して交通誘導を行った。訓練は、同市消防団第1分団の消防士らと、同市消防団第2分団の消防士らによるもので、同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。訓練は、同市消防団第1分団の消防士らと、同市消防団第2分団の消防士らによるもので、同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。



同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。訓練は、同市消防団第1分団の消防士らと、同市消防団第2分団の消防士らによるもので、同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。

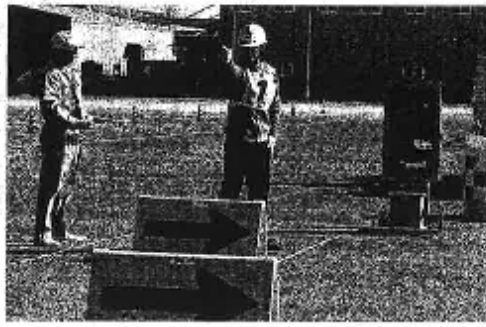
同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。訓練は、同市消防団第1分団の消防士らと、同市消防団第2分団の消防士らによるもので、同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。

同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。訓練は、同市消防団第1分団の消防士らと、同市消防団第2分団の消防士らによるもので、同市消防団第1分団の消防士らによる被害状況を把握し、同市消防団第2分団の消防士らによる交通誘導を行った。

### 交通誘導の事故防止訓練

日本製紙岩田工場で 若手警備員ら

岩田工場では、交通安全を徹底して確保するため、毎年11月、交通安全週間を設けて、交通安全に関する様々な取り組みを行っている。今年も11月17日(土)に交通安全週間の一環として、交通安全に関する取り組みの一環として、交通安全に関する様々な取り組みを行っている。



交通安全に関する取り組みの一環として、交通安全に関する様々な取り組みを行っている。

## 岩柳



- 右支店  
〒770 0022 山口県中津市朝日1-1-14  
電話 23-1935 Fax 23-1933  
tsukun@yaguchi.co.jp
- 山口総局  
〒750 0074 山口県中津市朝日1-1-14  
電話 23-3327 Fax 23-3331 03
- 下関支店 電話 0836-21-9020  
下関支店 電話 0836-231-6343  
岡田支店 電話 0834-21-1429  
萩支店 電話 0824-21-5116  
山口県庁 電話 0836-22-1952  
萩支店 電話 0836-22-3128

電話は **0120-4343-81**

本社 電話 0834-21-0450  
FAX 21-8640  
E-mail 0120-4343-81 0834-21-0817  
TEL 0834-21-0834 0834-21-5225

交通安全に関する取り組みの一環として、交通安全に関する様々な取り組みを行っている。

警備会社「中国警備知識」  
の若手警備員らに、交通安全に関する様々な取り組みを行っている。